

觀世流改訂儒本

內十二

海士
鞍馬天狗
定家
咸陽官
東家居士



明治四十三年四月三十日印刷
明治四十三年五月五日發行

訂正者、檢印
十キ毛、ハ偽版也



東京市麹町區中六番町二十九番地

訂正兼
發行者

丸

岡

桂

東京市下谷區二長町壹番地

印刷者

塚原錦三郎

東京市下谷區二長町壹番地

印刷所

凸版印刷株式會社

東京市麹町區中六番町廿九番地

發行所

觀古流改訂本刊行會

電話番町二五四四番

海士

二月
ツレ
ワキ

海人の靈後八龍女
房前大臣
同從者

早瀬^{ツヨク}の^ナつづ^ナぞ^ナ若^ナ穢^ナ三日^ナ月^ナれ^ナく^ナ秋^ナの^ナ西^ナ
急^ナぐん^ナ我^ナ地^ナの^ナ用^ナけ^ナ恵^ナみ^ナ久^ナ
方^ナれ^ナ天^ナの^ナ児^ナ屋^ナ根^ナの^ナ古^ナ窠^ナ大^ナ臣^ナ房^ナ前^ナ
の^ナ丈^ナと^ナ我^ナぐ^ナ中^ナなり^ナ佐^ナも^ナみ^ナづ^ナが^ナ
山^ナ丹^ナ備^ナ州^ナ志^ナ度^ナの^ナ浦^ナ房^ナ前^ナと^ナ申^ナま^ナ
可^ナも^ナ定^ナく^ナなり^ナ注^ナひ^ナぬ^ナと^ナ承^ナり^ナて^ナい^ナ

いふまじ彼の所より。求むるもなほ
ぞやと思ひの^{ト立流}。昭々ぬ旅はなほなほ
中^中あつるさし山隠も春は霞ぞ恨め
は^{上あ}うま^{三笠山}今ぞ栄えん汝岸
は^ウく^南の海は急せんと行けば程か
く津の国れとる日の本れ始める。淡
路のわたりまゆく。鳴門のけは音も

只海に定めぬ海士小舟（ハルマキ） 早瀬（ハヤセ）

きり程とれどもや備州志度の浦は

は着きよて出座の又あれを見ぬ男

女（メ）美列（ミレ）知らむ人一人事つるは

と出待ちあつて此所のいさを毒

くは尋ねあらうきさるゝては海士の

めら。深は極むまゝあらねどもあれ

らぬを。袂^{タビ}をよ。これ。備州志度
の浦。寺。迎。げ。れ。る。も。心。あ。き。あ。ま。の
里。海。人。ま。の。い。げ。は。や。君。を。負。ひ。伊。勢
の。海。士。の。夕。波。の。外。れ。の。月。を。待
ち。溪。谷。の。凡。は。秋。を。知。る。又。須。磨。の。海
士。の。塩。木。も。君。を。負。ひ。梯。を。折。り。持
ち。て。春。を。忘。れ。ぬ。た。よ。り。も。あ。る。は。浜。浦

まてい慰なぐさふも。若わかのふあまの魚うしほす
て。花はなのさきさきもあけをみさめみさめの
らうらうようめめららでも運はこぶ濱はまのくく
瀬せ海うみのくく流れながれ蘆あしのせせと海うみの葉はを
れれ心こころななるもいひいひかたかたもあまの里さと
は帰かへらんらん 早はやはいさいさとれれあある女をね
といは浦うらの海うみ士しとああららう さんんぶ

此海のうき海士もあつて
 海士あつてあの水底の海松葉を
 刈りてまゝせり。痛ぢや旅疲
 し。船は望まぬや。秋は佳し果と
 申さふ。おほど賤き田舎の果は
 まゝ雲の上人をみるめさるゝ
 までもあつてみるめさるゝ

甲
いぢくさきけ為まていあ。あけ水

底ソコの月と序法シヨフとまらる。海松カイマツ彦ヒコ解トキ繁シブキ

りて隣りともれぬ。やう隣りよとの古

便デヨオあり 休シテ月ツキのなぬやう隣りよと

のは便ツキる。昔もさるためあり。月ツキ味ミを

ふけはよて龍リウ宮グウへ取トルられいカニとあづき

ふアけニもニ海カイのニ天テン満マンつニ月ツキもニ満マン涼リョウ

し。三。死。下。海。松。澤。と。い。ふ。う。い。ふ。
早。付。と。石。珠。と。い。ふ。う。い。ふ。も。江。
浦。の。海。士。と。い。ふ。う。い。ふ。も。江。
浦。の。海。士。と。い。ふ。う。い。ふ。も。江。
浦。の。海。士。と。い。ふ。う。い。ふ。も。江。
浦。の。海。士。と。い。ふ。う。い。ふ。も。江。
浦。の。海。士。と。い。ふ。う。い。ふ。も。江。
浦。の。海。士。と。い。ふ。う。い。ふ。も。江。
浦。の。海。士。と。い。ふ。う。い。ふ。も。江。
浦。の。海。士。と。い。ふ。う。い。ふ。も。江。

よゝつて。新アキラきたまゝ鳴シメと書いて新シン

珠シユ鳴シメと申ハふ。依ヨ其玉タマの石イシをい何ナニと

ししりぞ。玉タマはシテ禪シヤ水の像ゾウま

しまも。行イヅ方カタより拝オガみ奉ホウむらも同ドウ

面オモテあるよゝつて。面オモテを向ムコふは暗ソムずまマと

書シいて面シ向コ不オ暗フけ珠タマとハいふ。早ハヤかん

どけ。宿ヤドを行イふ。漢カン字チヨオよりもわた

いけぞ シテ 今の大臣は海をた

妹 イモオト。唐土高宗皇帝の后 キザキ は立たせ

た。されば其御氏寺 ウヂデラ もれごとて興 コオ

福寺 ブクジ へ三つ所宿をわたさる。華原 ウラハ

磐 ケイ 田 シ 濱 ヒシ 石 セキ。面向 モンコウ 木崎 キザキ の玉 タマ。二つ所宿

い京 キョウ 多 タ。御珠 ミシユ といへば シユ 龍宮 リウグウ へ

取られ ダイジン。大臣 ダイジン は身をやつ シ。大海 ダイカイ は

便あるは、タカカル
 り。東又用けし藤のへされも心は
 わるなり。汝身残りて母をともあ
 う時傍に語りて曰く。吾れも御母の
 備州志度の浦。房前のあまりせ
 は名ありそ。言條と残ま。さて
 賤き海士の子。賤の女に服は宿り

けろぞや 上 うれしきも常 キ 本
みづく ウ 宿も月 ス 光 ク 雨露 ロ け
恩 オン よあ イ とも ニ やと サ 思 フ へ ニ 尋 ミ ね ニ ま ニ たり。
あ ア なる ニ う ニ け ニ 海 ウミ 士 シ へ ニ や ニ と ニ 出 デ 渡 ワタ せ ニ 流 リ
流 リ へ ニ 心 ココロ あり ニ 海 ウミ 士 シ 衣 エ さ ニ ず ニ ても
需 ス ら ニ ま ニ 材 ツク 油 アブ と ニ 重 オモシ ね ニ て ニ 海 ウミ へ ニ ち ニ ら
赤 アカ ち ニ の ニ 歩 フ り ニ や ニ ち ニ ら ニ 貴 キ 人 ニ の ニ 身 ミ さ

海^{ウミ}の^ノ胎^タは^ハ宿^{ヤク}り^リ流^{リウ}も^モ一^{イチ}世^セあ^アま^マ。
な^ナへ^ヘ骨^{ツノ}の^ノ隙^キは^ハう^ウつ^ツて^テ光^{ミツ}陰^{イン}を^ヲ
増^{マシ}も^モこ^コろ^ロあ^アり^リわ^ワれ^レら^ラも^モ其^{ソノ}あ^アま^マの^ノ
子^コ孫^ソと^ト答^{コタ}へ^ヘま^マん^ンず^ズも^モ愚^{オロ}や^ヤち^チ
君^{キミ}の^ノゆ^ユり^リは^ハ似^ニた^タり^リ津^ツの^ノ藤^{フジ}屋^ヤ門^{カド}
の^ノ口^{クチ}を^ヲ閉^トぢ^ヂて^テい^イち^チも^モや^ヤ水^{ミヅ}鳥^{トリ}は^ハあ^アま^マ
れ^レ名^ナを^ヲば^バ朽^クな^ナま^マず^ズ早^{ハヤ}に^ニそ^ソて^テも^モけ^ケ